

超・挑戦

北京2022へ挑む日体大アスリートたち。
その挑戦の先には人々の感動と喜びがある。
今年、スポーツがかつてない程の力を発揮する。



東京2020オリンピック・パラリンピックは、さまざまな意味で時代の変化を感じさせる大会であった。

日体大の在学生アスリートたちの活躍が大会に新風を吹き込んだ。また、日体大のお家芸と言える柔道、水泳、体操競技などに加えて、出場競技の幅が広がった。入江聖奈（体育学部3年）の女子ボクシング金メダル獲得（2012年ロンドン大会で女子ボクシングが正式競技に採用されて以来日本初のメダル獲得）は好例だろう。さらにパラリンピックには、日体大としてこれまでで最も多い6競技11名（競技バートナー含む）が出場を果たした。これらのことは、日体大のさらなる可能性を示している。

続いて、北京2022オリンピック・パラリンピックである。冬季大会での日体大関係者の活躍は、カルガリー大会（1988年・カナダ）での青柳徹（スポーツマネジメント学部教授）のスピードスケート1500m5位入賞に始まり、スピードスケートの伝統は高木美帆（日本体育大学職員）らに引き継がれている。冬季大会でも日体勢は出場種目を広げていった。カーリングの本橋麻里はバンクーバー大会（2010年・カナダ）8位、平昌大会（2018年・韓国）で銅メダルを獲得し、カーリングが注目を集める契機となった。またソチ大会（2014年・ロシア）では、子出藤歩夢、青野令がスノーボードで日体大初の出場を果たした。パラ・アルペンスキーでは、小池岳太がトリノ大会（2006年・イタリア）、バンクーバー大会、ソチ大会、平昌大会と連続出場を果たしており、日体大におけるパラアスリートの先駆者と言えるだろう。

多様性が尊ばれる時代に、日体大も時流をリードする大学運営を展開している。スポーツをする人、見る人、支える人、すべての人々にスポーツが与える価値と喜びを伝えていくことが日体大の使命であろう。その意味でも、北京大会での日体大のアスリート、パラアスリートの活躍が期待される。

新しい展開

く日体大とオリンピック・パラリンピックく



日体大を
極める
Episode 5



130年の蓄積

▷日本体育大学は昨年、創立130年を迎えた。本学の源流である日本体育会が創立された1891年の3年後に、国際オリンピック委員会（IOC）がフランスで設立される（1894年）。本学は近代スポーツ、そして近代オリンピックの歴史と歩みをともにしてきた。

▷昨年、一昨年と、経験したことのない災禍に見舞われ、不安な日々を過ごした。一方で、事態を打開するため多くの人々の献身的な努力が続く。130年の歴史の中でも、幾多の困難にあたり、本学はスポーツの力で平和と繁栄を築くために貢献してきた。その蓄積の真価が今こそ試されようとしている。

▷北京オリンピック・パラリンピックでも本学アスリート達が大舞台に立つ。この日のためにコロナ禍の制約の中で研鑽を続けてきた精鋭達だ。スピード、迫力、華麗な技。冬季ならではの熱い戦いで、世界が抱える氷塊を溶かしていくことだろう。その期待は本学に懸かっている。2022年、日本体育大学は次の10年、50年に向けて、新たな一歩を踏み出す。

03

東京が託したバトン、世界の願いを引き継いで、アスリートの感動が時代を前に進めていく

～第24回冬季オリンピック北京2022・北京2022パラリンピック～

- ・出場が期待される選手＜日体大関係者＞
- ・オリンピック種目紹介・競技スケジュール
- ・パラリンピック種目紹介・競技スケジュール

09

新たな伝説を紡ぐ主役たち

<代表選手メッセージ>

- ・仲間の思いも背負って滑る。
積み上げてきた4年の結果を北京で証明したい。高木 美帆 スピードスケート
- ・パラリンピック出場、メダル獲得は人生の一つのゴール。
期待に応えるよう精進を続けていく。高橋 幸平 パラ・アルペンスキー
- ・100km超のスピードの快感。
見る人を圧倒する力強い滑りに注目してほしい。本堂 杏実 パラ・アルペンスキー

<スキー部 部長・監督からのエール>

- ・全力でいつものルーティーンを。最高のパフォーマンスを目指し、
自信をもって優り滑ってほしい！ 戸塚 優斗 スノーボード
- ・瞬時にかける流輝の気持ちのこもった技、名前の通り、飛んで流れて輝く姿を
北京の舞台で私たちにを見せてほしい！ 飛田 流輝 スノーボード

15

創立130周年を弾みに、新生日体大をアピール

第58回 体育研究発表実演会

「維新 ―新たな始まり―」

17

人と人とのつながりでコロナ時代を乗り切れ！

第54回 日体フェスティバル2021 開催される

18

ミズノ株式会社相談役会長 水野正人氏へ

―日本体育大学名誉博士称号授与

19

news & topics

代表選手たちの健闘を称え、さらなる飛躍を誓う
東京オリンピック・パラリンピック報告会を開催

「交通安全啓発講話」を実施

日体大スポーツフェスタ2021in東京・世田谷キャンパスを開催しました

学報

学報 NITTAIDAI 67号 2022. WINTER

NITTAIDAI

世界の願いを引き継いで 時代を前に進めていく



～第24回冬季オリンピック北京2022・北京2022パラリンピック～

東京の感動が「第24回冬季オリンピック北京2022」「北京2022パラリンピック」でよみがえる。

メダルラッシュに沸いた昨夏に続き、北京で繰り広げられるドラマにも大いに期待したい。

日体大勢も平昌大会から続き、その実力にいつそう磨きをかけてきた。

この冬、満を持して大会に臨む日体大アスリート・パラアスリートの活躍に目が離せない。

第24回冬季オリンピック北京2022

2022年2月4日(金)～2月20日(日)

北京は2008年に夏季オリンピックを開催しており、夏と冬の両方の大会を開催する都市は世界初。「飛揚」と名付けられたトーチは2008年の夏季オリンピックとパラリンピックのレガシーを称え、同大会の聖火台に似たスタイルとなっている。東京大会の運営方法も参考にしながらエコ・儉約・安全を徹底した大会をめざす。前回大会でも使用した国家体育館(通称「鳥の巣」)を開会式・閉会式で使用するのもその一例である。冬季大会史上最高となる15競技109種目を実施。ジャンプ混合団体など、7種目が新種目として実施される。

北京2022パラリンピック

2022年3月4日(金)～3月13日(日)

世界最高レベルのパラリンピック選手約600人が参加予定。「雪氷上での喜びの出会い(Joyful Rendezvous upon Pure Ice and Snow)」というビジョンを掲げている。雪上競技(アルペンスキー、クロスカントリースキー、バイアスロン、スノーボード)と氷上競技(パラアイスホッケー、車いすカーリング)から成る6競技78種目で熱戦が展開される。北京、延慶、張家口に位置する6つの会場で実施。マスコット「雪容融(シュエ・ロンロン)」には、すべての人々がお互いを受け入れ、文化を理解し合うという願いが込められている。

東京が託したバトン、アスリートの感動が

<オリンピック冬季競技大会を知る>

歴史

冬季オリンピックは1924年、いわゆる『オリンピック』と呼ばれている夏の大会に28年遅れて始まった。第1回大会はアルプスの最高峰モンブランのふもとにあるリゾート地シャモニー・モンブラン（フランス）で開催された。実はこの大会はフランスが主催、国際オリンピック委員会（IOC）が名目的に後援して実施された『国際冬季競技週間（International Winter Sports Week）』で、これを翌1925年になってIOCが『第1回冬季オリンピック競技大会』として“追認”した経緯があるという。当時の事情やさまざまな国の思惑が対立し、「試験的に大会を実施する」という複雑な形で冬季オリンピックはスタートしている。

猪谷千春

日体大「オリンピックスポーツ文化研究所」では、猪谷千春氏から寄贈された書籍・資料の研究に取り組んでいる。一般に公開されることのないオリンピック招致に関する貴重な記録も含まれているという。猪谷氏は日本人初の冬季オリンピックメダリスト（コルチナ・ダンベッツオオリンピック／イタリア・1956年）。国際オリンピック委員会の理事・副会長、日本オリンピック委員会の理事、日本オリンピック協会の副会長などを歴任し、日本で誰よりもオリンピック・パラリンピックを、そして五輪運動を熟知する人物とされる。2011年には日本体育大学名誉博士（第5号）の学位を贈呈した。また、同研究所では、長野パラリンピック・札幌オリンピックに関する研究も進めている。



北京 2022 冬季オリンピック・パラリンピック競技大会 活躍が期待される選手<日体大関係者>

※五十音順（競技名）

大会	競技	種目／クラス	氏名	所属
オリンピック	アルペンスキー		小山 陽平	ベネフィット・ワンスキークラブ
オリンピック	スキージャンプ	スキージャンプ女子（個人ノーマルヒル）	高梨 沙羅	クラレ
オリンピック	スノーボード	ハーフパイプ	戸塚 優斗	ヨネックス（株）／日本体育大学体育学部2年
オリンピック	スノーボード	スロープスタイル	飛田 流輝	（株）ウィルレイズ／日本体育大学体育学部4年
オリンピック	スピードスケート	500m、1000m、1500m、3000m、TP	高木 美帆	日本体育大学
パラリンピック	アルペンスキー	クラス：LW9-2スタンディング（立位）	高橋 幸平	日本体育大学体育学部3年
パラリンピック	アルペンスキー	クラス：LW6/8-2 スタンディング（立位）	本堂 杏実	（株）コーセー／日本体育大学大学院2年
パラリンピック	アルペンスキー	クラス：LW6/8-2 スタンディング（立位）	小池 岳太	（株）JTBコミュニケーションデザイン／日本体育大学大学院1年

Olympic Winter Games

ともに、跳ぶ、滑走する、舞う

TEAM JAPAN 選手団の主将を務める高木美帆。スキージャンプの不動のエース高梨沙羅。期待の小山陽平は初出場。在学生の戸塚優斗、飛田流輝の全力の滑りと技は世界を魅了する。

□アイスホッケー

冬季オリンピックで最も人気のあるスポーツの一つ。男子トーナメントは、12チームが3つのグループに分かれて、各グループ1位（3チーム）と、2位の中で最も成績の良い1チームが準々決勝（ノックアウト方式）に進出し、それ以外のチームはプレーオフ競技に回る。女子トーナメントでは、10チームが2グループに分かれて、グループAの5チームとグループBの上位3チームが準々決勝に進出し、ノックアウト方式で競い合う。

□アルペンスキー

種目によっては時速100kmを超えるスピードで競い合う。男子と女子のダウンヒル（滑降）、スーパーG（スーパー大回転）、ジャイアントスラローム（大回転）、スラローム（回転）、アルペンコンバインド（アルペン複合）と混合団体の11種目で33のメダルを争う。滑降とスーパーGは1回の滑走で最速タイムを競うが、大回転と回転は2コースで行われる。アルペン複合では、ダウンヒルとスラロームをそれぞれ1本ずつ行う。

□カーリング

ストーン、ブルーーム（ほうき）、そしてスライダーとグリッパという靴を使用する。スキル、緊張、そして興奮が魅力の競技。3種目行われ、9個のメダルをかけて競い合う。男子、女子、ミックスダブルス（男子1名、女子1名の1チーム2名）の各競技に10チーム（試合では1チーム4名編制）が出場。予選では10チームがラウンドロビン方式（総当たり戦）で対戦し、ベスト4のチームが準決勝、メダルマッチに進出する。

□クロスカントリースキー

12種目が行われ、36個のメダルをかけて競い合う。男子は、15kmクラシック、15km + 15km スキーアスロン、スプリントフリー、団体スプリントクラシック、4×10km リレー、50km マススタートフリー。女子は、10km クラシック、7.5km + 7.5km スキーアスロン、スプリントフリー、団体スプリントクラシック、4x5km リレー、30km マススタートフリー。左右に滑るフリースタイルと、前方に滑るクラシックの2種類のスキー技術がある。

□ショートトラック

冬季オリンピックのスケート3種目の一つ。1周111.12mのトラックを滑走する。スピードスケートとは異なり、タイムではなく着順で競い合うため、戦略、メンタル、技術が求められ、スリリングなレース展開が見どころとなる。今大会では、男子4種目、女子4種目、混合1種目の計9種目が行われる。北京2022で新たに追加された混合リレーは2000mのレースで、各国の女子2人と男子2人がチームを組んで18周を滑る。



第24回冬季オリンピック北京2022 競技・種目ガイド

未来に向かって

□フリースタイルスキー

北京2022では、13種目が予定され、男女ビッグエアとエアリアル混合団体が新種目。エアリアル、モーグル、ハーフパイプ、スロープスタイルはすべて審査競技であり、選手は競技中の各滑走で見せるトリックの技術やフォームに基づいて、審査員グループから採点される。ビッグエアの場合、選手はそれぞれのジャンプの高さと距離でも採点される。スキークロスは、審査ではなくタイムを競う競技(先にゴールした方が勝ち)。

□ボブスレー

新種目のモノボブを含む男女各2種目が行われ、12個のメダルをかけて競い合う。最大170の出場枠が設けられ、男子124名、女子46名が最大で出場できる。ボブスレーという名称は、乗組員が前後に揺さぶる(bob)ことで、直線でのそりのスピードを上げることに由来している。冬季大会を象徴する競技であるボブスレーの始まりは、19世紀後半にスイス人がトボガンそりにステアリング装置を取り付けたことがきっかけとされる。

□リュージュ

平均時速120〜145kmは冬季のスライディングスポーツで最速。4種目(男子1人乗り、女子1人乗り、2人乗り、チームリレー)で構成され、12個のメダルを競い合う。1人乗り種目では、同じコースを2日間かけて4回滑走、2人乗りは1日で行われ、各ペアが2回滑走し、1人乗り2人乗りともに合計タイムで競う。チームリレーでは、1NOCから、女子1人乗り、男子1人乗り、2人乗りの、3つのそり競技種目から出場する。

□ノルディック複合

3種目が行われ、いずれもスキージャンプとクロスカントリースキーのレースで構成されている。個人ノーマルヒルは、スキージャンプ・ノーマルヒルとクロスカントリースキー10kmで、個人ラージヒルは、スキージャンプ・ラージヒルとクロスカントリースキー10kmで競い合う。団体ラージヒルは、スキージャンプ・ラージヒル1回の採点と、クロスカントリースキーリレー4×5kmフリースタイルで競う。女子種目が実施されていない。

□バイアスロン

スキーと射撃が融合した競技と言える。男女各5種目と混合団体競技1種目の計11種目が行われ、33のメダルを競い合う。最大210名の出場枠が用意され、最大で男子105名、女子105名の選手が出場できる。バイアスロンの各競技は、レース形式で行われ、選手たちは距離が分割されたトレイルを滑走し、射撃ラウンドを行う。種目により、射撃を失敗すると時間や距離が加算される。年々新しい競技が追加されている。

□フィギュアスケート

冬季オリンピックの定番の種目の一つ。男子シングル、女子シングル、ペア、アイスダンス、そして団体戦の5種目が行われる。各種目は通常、競技者の得点を決定するためショートルーティンとロングルーティンで構成される。各ルーティンの中で、スケーターにはテクニカル・エレメンツ・スコア(TES)とプログラム・コンポーネンツ・スコア(PCS)という2つのスコアが与えられる。合計144の出場枠が用意されている。

□スキージャンプ

スキージャンプは新たに設けられた混合団体を含む5種目が行われる(男子ノーマルヒル個人、男子ラージヒル個人、男子団体、女子ノーマルヒル個人、混合団体)。大会では、ジャンプの飛距離とスタイルが評価の対象となる。距離は、テイクオフポイントからジャンパーが着地する場所まで、ランディングヒルのカーブに沿って計測される。混合団体は、ノーマルヒルで女子、男子、女子、男子の順で行われ、採点方法は男子種目と同じ。

□スケルトン

鉄製のそりで氷のコースをかけ抜ける競技。リュージュ、ボブスレーと並ぶスライディングスポーツのひとつ。頭を前にして、腹ばいになってそりに乗る。男女の2種目で構成され、合計50名の選手に出場枠が与えられる。選手は同じコースで2日間に4回の滑走を行う。4回の走行を100分の1秒単位で計測し、合計タイムが一番速かった選手が勝者となる。種目数が少なく6個のメダルを争い熾烈な戦いが展開される。

□スノーボード

1998年に長野大会で初めて採用。北京2022は11種目で、スノーボードクロス混合団体は冬季オリンピックデビュー。ハーフパイプ、スロープスタイル、ビッグエアの各競技は、審査員がトリックの難易度、ランの完成度、技術の高さ、ジャンプの着地などを評価し、各選手のランを採点する。スノーボードクロス、パラレル・ジャイアントスラローム、スノーボードクロス混合団体の各種目は、すべてレースとなる(先にゴールした方が勝ち)。

□スピードスケート

14種目が行われ、種目数では今大会最大。男子7種目、女子7種目が行われる。男子は500m、1000m、1500m、5000m、10000m、マススタート、団体追い抜き(チームパシュート)。女子は500m、1000m、1500m、3000m、5000m、マススタート、団体追い抜き(チームパシュート)。合計112の出場枠が用意されている。1924年第1回冬季オリンピックでデビューを果たし、女子は1960年のスコパレー大会で正式種目となった。

北京2022冬季オリンピック競技大会 競技スケジュール

オリンピック	2/2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
アイスホッケー		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○
アルペンスキー					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カーリング	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○
クロスカントリースキー				○	○		○		○	○	○	○			○			○	○
ショートトラック				○	○		○		○		○				○				
スキージャンプ				○	○	○				●	○		○						
スケルトン									●	○	○								
スノーボード				●	○	○	○	○	○	○	○		●	○					
スピードスケート				○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	
ノルディック複合								○							○	○			
バイアスロン				○		○	○			○	○	○		○	○		○	○	
フィギュアスケート			●		●	○	●		○		●		○	●		○	●	○	●
フリースタイルスキー		●		○	○	●	○	○	○			●	○	○	○	○	○	○	
ボブスレー												●	○	○			●	○	○
リュージュ				●	○	●	○	○	○										

●は予選、○はメダル確定日

Paralympic Winter Games

5大会連続出場の小池岳太は日体大パラ冬季競技の先駆者。
平昌大会に続いての出場となる本堂杏実、高橋幸平も
4年間の練習・試合経験を弾みに満を持して大会に臨む。



全力で挑戦する姿が輝く

□スノーボード

対象障がいとは肢体不自由。選手は障がいによって上肢障がい1クラス、下肢障がい2クラスに分かれて男女別に競技する。バンクドスラロームとスノーボードクロスの2種目。バンクドスラロームは、バンクと呼ばれる傾斜の付いたコーナーが設けられたコースを選手が1人ずつ3回滑走し、その最速タイムで順位を競う。スノーボードクロスは、バンクやウェーブ(波打った雪面)、キッカー(ジャンプ台)が設置されたコースを使用する。決勝ラウンドでは1対1または複数による一斉スタートのレースで、早くゴールした選手が勝者となる。2014年ソチ大会からアルペンスキーの1種目としてパラリンピックに登場し、2018年平昌大会からは独立した1競技となった。

□バイアスロン

対象障がいとは肢体不自由、視覚障がい。選手は立位、座位、視覚障がいの3つのカテゴリーに分かれ、男女別に各カテゴリーで順位を行う。実走タイムに障がいの程度に応じて設定されている係数を掛けた計算タイムで順位を決める。種目は距離別にスプリント(射撃2回)、ミドル(射撃4回)、インディビジュアル(射撃4回)の3種目が行われる。スプリントとミドルは、射撃後に外した弾数だけペナルティループ(立位・視覚障がい150m、座位100m)を周回してコースに戻る。インディビジュアルは1発外すごとに計算タイムに1分が加算される。射撃はすべて伏射で、立位と座位の選手はエアライフル、視覚障がいの選手は音で的の位置がわかるビームライフルを使用する。

□車いすカーリング

対象障がいとは下肢に障がいのある肢体不自由。スウィーピング(ブラシで掃くこと)は行わず、助走することなく手またはデリバリースティック(棒状の補助具)を使ってストーンをリリースする。1チーム4人で戦い、そのチームは男女混合で編成される必要がある。1試合は8エンドで、1エンドにつき各選手2個ずつストーンが与えられ、各チーム交互にハウスと呼ばれる円に向かってストーンを滑らせる。各エンドの勝敗は、ストーンをハウスの中心に最も近づけたチームが勝ちとなり、ハウスの中心から最も近い負けチームのストーンよりも内側にある勝ちチームのストーンの数で得点となる。これを8エンド繰り返し、総得点で勝敗を決める。

□クロスカントリースキー

対象障がいとは肢体不自由、視覚障がい。障がいの種類によってスタンディング(立位)、シットイング(座位)、ビジュアリーインペアード(視覚障がい)の3カテゴリーに分かれ、その中で順位を競う。また各カテゴリーでは障がいの種類や程度によってクラス分けが行われ、各選手に係数が設けられる。順位は実走タイムにその係数をかけた計算タイムによって決められる。走法はクラシカル走法とフリー走法の2種類。クラシカルはスキーを左右平行に保ちながら2本のシュプール上を滑る走法で、フリーはスキーを逆ハの字に開いてキックするスケティング走法など自由な走法で滑走することができる。走法と距離を組み合わせた種目が行われ、リレー種目もある。

□アイスホッケー

対象障がいとは下肢に障がいのある肢体不自由。専用そり(スレッジ)に乗って行う。アイスリンク、ゴールの大きさや使用するパック、6人制等は一般のアイスホッケーと同じ。試合は、1ピリオド15分、3ピリオド合計45分で行われる。スレッジは、選手に合わせてカスタマイズされたバケットを頑丈なフレームで支え、その下にスケートの刃が2枚付けられている。選手が両手に1本ずつ持つスティックは片側がブレードで、もう一方のグリップエンドには駆動用の刃(ピック)が付けられている。選手はブレード部分を持ってピックで氷をかいて前進し、スティックの上下を持ち換えてブレード部分でパックをとらえてパスを出したり、シュートを打ったりする。

□アルペンスキー

対象障がいとは肢体不自由、視覚障がい。選手は障がいの種類によってスタンディング(立位)、シットイング(座位)、ビジュアリーインペアード(視覚障がい)の3カテゴリーに分かれ、その中で順位を競う。また各カテゴリーでは障がいの種類や程度によってクラス分けが行われ、各選手に係数が設けられ、実走タイムにその係数をかけた計算タイムによって順位が決まる(計算タイム制)。種目は「ダウンヒル(滑降)」、「スーパーG(スーパー大回転)」、「ジャイアントスラローム(大回転)」、「スラローム(回転)」、「スーパーコンバインド(スーパーコンビ)」の5種目。100分の1秒を争うスピード、テクニックが求められる冬季大会の花形競技である。

北京 2022 パラリンピック 競技・種目ガイド



雪氷上に笑顔が集り、



北京 2022 冬季パラリンピック競技大会 競技スケジュール

パラリンピック	3/4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
アイスホッケー		●	●		●	●	●	●	○	○
アルペンスキー		○	○		○		○	○	○	○
車いすカーリング		●	●	●	●	●	●	○	○	
クロスカントリースキー			○	○		○			○	○
スノーボード			●	○				●	○	
バイアスロン		○			○			○		

●は予選、○はメダル確定日

高木 美帆選手

(スピードスケート)

「たくさんの仲間と出会い、成長し、ともに戦ってきた時間があるからこそ、北京の舞台に立つことができた」そう思えるほどの4年間を過ごすことができました。仲間の想いも背負って戦っていきたいと思っています。

3回目のオリンピック出場となる高木美帆選手。いつまでも変化と成長を楽しみたいという言葉通り、大会ごとに進化するその滑りや動きに期待したい。

仲間の思いも背負って滑る。
積み上げてきた4年の結果を
北京で証明したい。



高木 美帆(たかぎ みほ)

日本体育大学職員。北海道帯広南商業高校出身。日本体育大学体育学部卒業。

主な戦績：2018年平昌大会 チームパシュート 金・1500m 銀・1000m 銅

2021年ワールドカップ(アメリカ・ソルトレークシティ) 女子1000m優勝 ほか

こんな人：大学の授業では前から3列目あたりを狙って座るタイプの人間です。モノを捨てられない性格も相まって、気に入っているものは何年も同じものを使い続けます。

競技以外で今一番やりたいこと：親を旅行に連れていきたいです。

北京に挑む日体大の選手達へのエール：様々な困難がまだまだ待ち受けていると思います。ひとつひとつ乗り越え、自分が出せる最大限のものをあの舞台で発揮できるよう応援しています！

Q. バンクーバー、平昌と比較し、北京に向けての競技や心境の変化は？

3回とも違う心境で臨むことになりました。平昌も北京も本気で挑むという点では変わりはありませんが、積み上げてきた4年間は全く違うものになっていると思っています。特にこの4年間は自分の内面とたくさん向き合ってきました。また、平昌以上に仲間の大切さを実感しています。

Q. 北京までの1年間を振り返って、戦績・仕上がりについての感想・評価は？

オリンピックは他の世界大会とは違うものと認識しているので、今までの結果は全く影響しないと思っています。そういった点では仕上がり具合も戦績も、北京の結果次第だと考えています。

Q. あなたにとって「オリンピック」とは？

他のなにものにも代えがたい舞台だと思っています。自分のすべてをかけて挑む価値のある、そんな場所です。そしてここまで成長することができたのも、オリンピックがあったからだろうと思っています。

Q. コロナ禍等による困難な時代にスポーツが果たす役割とは？

体を動かすことは健康を維持するうえでとても大事な要素だと思っています。競技スポーツを見ることによって少しでも体を動かしたいと思ってもらえたら嬉しいです。

Q. スピードスケートの魅力とは？

一番速くゴールした人が優勝というシンプル

なスポーツの中にも勝つための様々な要因があつて、奥が深いところが魅力です。あの薄い刃にすべての力をこめるので力強さの中にも繊細な要素がたくさんあります。個人的には氷を削る音や滑る際に発生する音が好きで、生で見たときのスピード感は画面越しには感じられないものがあると思っています。

Q. 競技・試合で注目してほしい点は？

ラップタイムの刻み具合をぜひ見ていただきたいです。さらに、動きの雰囲気という点では、伸びやかなやさのある動きの中にも力強さを同居させていきたいと思っています。画面越しにもそれが伝わるように頑張ります。人それぞれ滑りの雰囲気が違うので、そういった点にも注目するとまた違った楽しみ方ができるのかと思います。

Q. あなたにとって「日体大」とは？

競技スポーツにとっても理解のある大学です。私にとってはたくさんの可能性をみつけるきっかけになった場所と言えます。そしてスポーツ好きが集まるので、出会い自体も楽しいことがたくさんあります。またやりたいことを諦めずに文武両道を貫きやすいのも魅力の一つだと思います。

Q. 自分の一番の強み・持ち味は？

競技に関しては、誰にも負けないような突出した能力はありませんが、だいたいのことは平均以上にはできていると思います。昔は突出したものがないのがコンプレックスに感じているときもありましたが、今は逆に強みだと

いえるように平均のレベルを上げる努力をしています。

Q. 目標に向けて努力する在学生へのエール
目標に向かって挑戦していることはそれだけで素晴らしいです。どんな小さな成長も見逃さず、できた！という発見を少しずつ積み上げていってください。応援しています！

Q. 今後の抱負は？

いつまでも自分の中の変化と成長を楽しめる人生を送りたいと思っています。まずは目の前のひとつひとつの目標を大事にしっかり超えていきたいです。





前回・平昌大会からの心境の変化は、スキーに対する愛着、情熱が一層増したこと。北京では努力と熱い思いが真価を発揮することだろう。

パラリンピック出場、メダル獲得は人生の二つのゴール。期待に応えるよう精進を続けていく。



高橋 幸平 選手

(パラリンピック アルペンスキー)

人生2度目となる今大会は、私にとって特別な大会です。前大会は、何もかもが初めてで準備が十分とは言えませんでした。4年間で成長を実感しています。前大会とは違った「高橋幸平」をお見せできるよう精進してまいります。

高橋 幸平(たかはし こうへい)

岩手県立盛岡農業高校出身。体育学部3年 スキー部所属

主な戦績：2021年パラアルペンスキーアジアカップ(長野) 回転 男子立位優勝・スーパー大回転 男子立位優勝・大回転 男子立位2位(ほか)

こんな人：引っ込み思案な性格なので思いを積極的に伝えていきたいです。

競技以外で今一番やりたいこと：コロナ禍で心配ですが、愛媛へ旅行に行ってみたいです。

●スキー部からのエール

これまでやってきた努力を自信にして、思い切った滑りを期待しています(竹腰誠部長)

いよいよこれまでの成果を発揮するステージが来ましたね。幸平の持ち味を滑りに出してください。君を応援してくれる全ての人に感謝の気持ちを持ち、滑り切らんだ!(渡辺孝司監督)

Q. 平昌から北京までの間で、競技や心境の変化は？

心境の変化が一番大きいと思います。スキーへ対する思いが増し、より一層スキーが好きになりました。

Q. あなたにとって「パラリンピック」とは？

スキー人生のゴール地点です。ここでのメダルを夢見て今までやってきたので北京で力を試したいです。

Q. これからの時代に期待されるパラ・スポーツの役割とは？

前回の平昌大会から初めてテレビで放送されるようになり、パラスポーツの注目度は少なからず増えています。周りへの元気と勇気を与えることができる日が来ると信じています。

Q. 日体大に入学した理由、入学後の感想は？

農業高校に通っていたこともあり、農業大学に進学を考えていました。しかし、両親の助言で、今やるべきことはスキーだと気づかされ、進学を決意しました。授業で学んだことをスキーに活かせるという面では、他選手より利点ではないかと思っています。

Q. アルペンスキーの魅力とは？

パラアルペンスキーは、色々な障害を持つた人の集まりです。同じ障害でも滑り方が一人一人違い、工夫をしているのがそこが魅力だと感じています。

Q. 競技・試合で注目してほしい点は？

特に回転競技(SL)が好きです。私の障害上右足には力があまり入りませんが、その中でも踏ん張ってターンをしている所に注目していただきたいです。

Q. 自分の一番の強み・持ち味は？

私の障害クラスの中で、一番だと自負もある、俊敏に動けることです。体が反応するのでミスしたときでもすぐリハビリができるのだと思います。

Q. 目標に向けて努力する在学生へのエール

まず、何事も楽しむこと。自分がやりたいこと・スポーツ競技を好きになるというこではないでしょうか。

Q. 今後の抱負は？

平昌大会で応援してくださった岩手県、町民の皆さんには4年で成長した姿をお見せします。そして、日体大の皆さん、スキー部関係者の皆さんに少しでも私のことを知ってもらえたら嬉しいです。もちろんメダル獲得を目指します。



100km超のスピードの快感。
見る人を圧倒する
力強い滑りに注目してほしい。

平昌から自分と向き合ってきた4年間。
大きな怪我を克服し本堂杏実選手は力強く成長を続ける。
迫力ある滑りは見る人の目を釘付けにすることだろう。

Q. 平昌から北京までの間で、競技や心境の変化は？

怪我を経験して、自分と向き合う時間が
増え、まだまだ、未熟で考えも甘かった
のだと気づかされました。しかし、その
おかげで心身ともに成長することができ
ました。

Q. あなたにとって「ハリリンピック」とは？

四年に一度の大舞台です。ラグビーから転向しましたが「一番になりたい」という気持ちには変わりません。

Q. これからの時代に期待されるハラ・スポーツの役割とは？

様々な障害を持つ人たちの可能性を見出すことができるのでしょうか。

Q. あなたにとって「日体大」とは？

ずっと日体大に入りたいと思っていました。日体大の女子ラグビーの強さに憧れて入学しましたが、大学1年生の冬に大学関係者の方に声をかけていただいてバレーに転向したのです。その意味で、日体大は私にとって人生の分岐点と言えます。無限の可能性を提供してくれるのが日体大です。

Q. アルペンスキーの魅力とは？

私は スピードへの恐怖心がないので 100km 以上スピードが出る高速系種目がとても好きです。そして、観戦者もハラハラドキドキしながら楽しめる種目

です。また、目の見えない選手やチェアスキー、片足、義足など様々な選手の力

強い滑りは見るものを圧倒させます。そのような、パラリンピックの醍醐味を目で観て感じて楽しんで欲しいと思います。

Q・ 競技・試合で注目してほしい点は？

おり、タイマーの進むスピードが違う所も注目の一つだと思います。

Q. 自分の一歩の強み・持ち味は？

スピードに対する恐怖心がないことです。

Q. 目標に向けて努力する在学生への
エール

どれだけ失敗をしても、絶対に諦めないこと。そして、自分の意思を貫き通してください。

Q. 今後の抱負は？

2026年コルティナダンペッツォ・パラリンピックで日本人女子立位初の金メダルを獲得することです。

選手 実杏 堂本

(パラリンピック アルペンスキー)

前回大会からの４年間は紆余曲折がありました
が、北京パラリンピック内定をいただき大変嬉
しく思います。北京パラリンピックでは高速系種
目でのメダル獲得へ向け全力を尽くして参りま
すので、応援宜しくお願い致します。



本堂 杏実(ほんどう あんみ)

日本体育大学大学院在学中。日本体育大学桜華高等学校出身。日本体育大学体育学部卒業。

主な戦績：主な戦績：2018年平昌大会
回転8位入賞

2021年ワールドカップ(スイス・ヴェ
ナ) Super-G12位 ほか

こんな人：とても、泣き虫で自由奔放な
負けず嫌い。

競技以外で今一番やりたいこと：友人や兄弟、姪っ子甥っ子とたくさん遊んでお話をする。あとは睡眠です(笑)。

●スキー部からのエール

焦らず、力まず、普段の滑りを出し切れ
ば良いと思います。頑張れ杏実！（竹腰
誠部長）

怪我からの復帰、頑張りましたね。徐々に自分らしい滑りが戻ってきたね。メダル目指してベストを尽くそう！（渡辺孝司監督）

代表へスキー部部長・監督がエールを送る



戸塚 優斗選手

(スノーボード)

戸塚 優斗(とつか ゆうと)

光明学園相模原高等学校出身。体育学部2年 スキー部所属
主な戦績(2020-2021): World Cup(スイス) ハーフパイプ 優勝/世界選手権(アメリカ) ハーフパイプ 優勝/World Cup(アメリカ) ハーフパイプ 優勝/全日本選手権大会(札幌) ハーフパイプ 優勝

こんな人:とても寡黙でシャイな性格。そしてとにかく優しい男。バイクが趣味で行動範囲も広がったかも? しっかりと計画を立てて練習を行うことは、さすがオリンピックです。とにかくスノーボードが大好きで、それが生活の中心。

緊張の絶頂で出場した平昌大会から4年。成長を遂げ、迷いなく自然体で北京の舞台に立つ。今こそ、自信を確信に変えるときがきた。

Q: 戸塚選手の強みは?
ルーティンを行うときの高さ。そして、フロントサイドダブルコーク1440(らせん状に縦2回転+横4回転)や「キャブダブルコーク1440(逆足スタンスから縦2回転+横4回転)といった超高難度の技を惜しげもなくパフォーマンスする度胸です。ボード操作の正確性は世界」と言って過言ではないでしょう。

Q: 強みの秘密は?
スノーボードをするために生まれてきたと思うほどの競技に対する情熱。幼少期からお母さんに連れられ、ひたすらスノーボードをしてきて、技を磨く一途な思いは誰にも負けません。夏場の雪上以外の練習では、補強運動をパーソナルジム(専属トレーナー)

全力でいつものルーティンを。
最高のパフォーマンスを目指し、
自信をもつて優斗らしく滑ってほしい!

に通いつかりと体幹を鍛え上げました。

Q: 昨今の戸塚選手の印象は?

今シーズンのFIS World Cupすべて、2022北京オリンピックに向けての試合内容で、誰よりも強くなっている。最高です。できる!できる!行ける!行ける! 我々は優斗を信じるだけです。これまでの自分のトレーニングを信じて、思い切った滑りを期待しています。

Q: 競技・試合で注目してほしい点は?

日本人による決勝対決になりそうです。優斗は最高のパフォーマンスのルーティンを見せてくれるでしょう。しっかりと集中した際の安定した滑走に注目してください。一緒に盛り上がりましょう。

Q: 戸塚選手へのエールをお願いします。

いつものルーティンこそ全て! 自分に自信を持ち、迷いなく最高のパフォーマンスを発揮してください。

のこに注目!

竹腰 誠 部長

(スポーツマネジメント学部准教授)

スキー部の今:各選手および各セクションが切磋琢磨して良い競争を生んでいると思います。この勢いを北京に伝えたいです。

部の活躍の要因:まずは各地域の卒業生を中心に良い選手を日本体育大学に進学させてくれる組織ができつつあること。たくさんの関係者の皆さんと共同・協働しアスリートの育成ができることが多くの学生の活躍につながっています。

指導者としてのオリンピック・パラリンピック: 参加する本人・関係者を含めて、人々に夢と希望を与える場所であると思います。

スキー部を志す高校生へ:世界のトップアスリートから各地区のエースまで様々なレベルの学生がいます。一緒に自立できるアスリートを目指しましょう。

抱負:『チームとして周囲の方に応援されるクラブになろう』という目標に向け人間力を磨くことが必要。そして最大の目標はインカレ優勝です。

すべての日体大代表選手へ:全ての日本体育大学関係者が応援しています。自分を信じてスタートを切ってください。Let's Go NITTDAI!



スノーボードの頂点を狙う現役部員の日本

一瞬にかける流輝の気持ちのこもった技、
名前の通り、飛んで流れて輝く姿を
北京の舞台で私たちにを見せてほしい！



飛田 流輝選手

(スノーボード)

飛田 流輝(とびた るき)

成立学園高等学校出身。体育学部4年 スキー部所属

主な戦績(2020-2021): USA Aspen FIS 世界選手権 スロープスタイル 9位・ビッグエア 4位/AIR + STYLE 中国FISワールドカップ ビッグエア 5位/seiser Alm イタリアFISスノーボードワールドカップ スロープスタイル 2位/calgary カナダFISスノーボードワールドカップ 2位/2019~2020シーズンFISスロープスタイルワールドカップ 総合優勝 ほか

こんな人: 天性の明るく人懐っこい性格。小さい子から「ルキ君、ルキ君」と親しげに声をかけてもらえる人気者。スノーボードが大好きな少年がそのまま大人になったような純粋でシャイな学生です。

Q、昨今の飛田選手の印象は？

2019/2020シーズンにはスロープスタイルでW杯年間優勝をし、SAJ(全日本スキー連盟)の『SNOW AWARD』にも輝きましたが、表彰式は中止。2020/2021シーズンもコロナで大会数が少ないなど、悔しい思いをしているので間違いなくメンタルは強くなっています。

Q、競技・試合で注目してほしい点は？

得意とするスロープスタイルでは、表彰台を狙えますので総合滑走力を見てください。ビッグエアは高さ5回転です。飛田流輝の名前の通り、飛んで流れて輝く姿を見て応援してください。特にビッグエアは一瞬で勝敗が決まってしまうので、その一瞬にかける彼の気持ちのこもった試技を見ていただきたいと思っています。

Q、飛田選手へのエールをお願いします。

落ち着いて自信を持って臨めば流輝らしくパフォーマンスできると確信しています。

Q、強みの秘密は？

強みは、練習量です。中途半端を嫌います。夏場のジャンプ練習も朝8時から夜まで飛び続ける日もあります。ひたすらと飛び続け、スマホで動作分析の繰り返しです。その練習量が自信になっています。こうした練習ができる環境に感謝しつつ作り上げる心配り・環境作りができる学生でもあります。

憧れた五輪の切符を手にした喜び。
自分の滑りができれば結果は付いてくる。
応援してくださった人々のためにも、表彰台を狙う。

Q、飛田選手の強みは？

飛田選手の種目はビッグエアとスロープスタイルです。ビッグエアでは、とにかくジャンプする高さが武器であり、5回転できるかがポイントになるでしょう。飛田選手は早く5回転を決めた選手です。そして、思いつきの良さが武器であり魅力でしょう。

2022 スキー部

渡辺 孝司 監督

(株式会社 WIN AGENT 代表取締役)

スキー部の今: セクションが増え、全日本メンバーも多くなりますので、普段の練習で刺激を皆がもらっています。4年後(2026年)のイタリアも楽しみ。コロナ禍の昨年と比べ、今シーズンはとても内容の濃い練習ができています。

部の活躍の要因: OB・OG、保護者の方々のお陰です。感謝の気持ちを忘れません。

指導者としてのオリンピック・パラリンピック: アスリートの発信力で世の中を明るく希望の持てるものにして欲しいです。

スキー部を志す高校生へ: 卒業後に職に就けるよう人間性や社会性を学び成長できる活動を取り組めますので、一緒にスノースポーツを楽しみましょう！

抱負: この北京オリ・パラでは日体大としてのOBOGが4名、現役学生3名が出場します。日体大の名に恥じないようこれからも地道に努力をして参ります。

すべての日体大代表選手へ: 惜しくも出場できなかった選手の分もしっかりと噛みしめ滑りで表現して欲しいと思います。日体魂を発揮してください。



新生日体大をアピール 「維新 — 新たな始まり —」

開催日：2021年11月17日(水) 会場：横浜アリーナ

日体大は昨年創立130年を迎えました。テーマである「維新」は、体育やスポーツ、ひいては日体大全体が、「身体にまつわる文化と科学の総合大学」を標榜し、新たなステージを目指して躍動することを意味しています。

第58回体育研究発表実演会は、東京オリンピック・パラリンピックと同じく、2020年の開催予定が1年延期されました。

まさに社会やスポーツの有り様が大きく変化する時代に開催されたことは、これまでのレガシーを振り返り、新たな一歩を踏み出す契機となったと言えます。

日体大が誇る伝統的な演目の洗練された演技、力強い日体大魂に来場者が魅了されました。

未来に向けて、日体大の使命と覚悟を学内外にアピールするステージとなりました。



体育研究発表実演会の歩み

第1回は1954(昭和29)年9月に東京体育館で開催されて以来、今回で58回(地方大会を含む)を数え、半世紀以上の歴史を誇ります。この間に発表した演目も70種目を超え、まさに日本の体育・スポーツを広く捉え、そして最新の研究が積み上げられてきた証明と言えます。また第51回大会からは法人設置校一体化(ワンファミリー化)提唱の下、幼稚園児や高校生による発表が加わり、第53回大会からは本学が協定している海外の大学も加わって国際色も豊かになりました。さらに東日本大震災の翌年の2012年には岩手県、宮城県、福島県を舞台に「日体大スポーツキャラバン・体育研究発表実演会」を開催、近年では保健医療学部を中心に医療活動を展開するなど、日体大の多様な社会的使命を具現化する場ともなっています。



創立130周年を弾みに、 第58回 体育研究発表実演会

【プログラム】

01 伝統芸能(和太鼓)

演技指導者 青島 刀光 加藤 刀代

02 チアリーダー

演技指導者 松本 真咲 羽田 真紀子 大槻 彩子 山上 美公 柴原 彩葉 小泉 杏奈

03 チンロン& セバタクロー

演技指導者 波多腰 克晃

04 バレーボール

演技指導者 山本 健之 山内 康輔

05 オリンピック・パラリンピック報告会

進行役 村田 由香里 白井 健三

06 朝鮮大学校

演技指導者 朴 貞順

07 新体操

演技指導者 村田 由香里 菅 真彩

08 体操競技

演技指導者 具志堅 幸司 瀬尾 京子

09 体操

演技指導者 三宅 良輔 小柳 将吾 新井 庸太 今井 菜津美

10 トランポリン

演技指導者 山崎 博和 大嶋 諒人 西岡 穂波

11 集団行動

演技指導者 大海 二朗 小柳 将吾 玉川 隼輔

12 ダンス

演技指導者 津田 博子 松本 真咲 仲間 若菜 清水 早紀 笠井 里津子

13 エッサツサ

演技指導者 根本 研 田辺 勝 辻 昇一 古澤 伸晃 小山 凜雄 青木 稜 山口 雄大



人と人とのつながりでコロナ時代を乗り切れ！

第54回 日体フェスティバル2021 開催される



「結(むすび)」をテーマに、日体大の団結とパワーを発信した2日間

開催日：2021年11月6日(土)・7日(日) 会場：東京・世田谷キャンパス

実施テーマは「結(むすび)」。「コロナ禍でも人と人を結んで、明るく楽しいフェスティバルにしたい」「フェスティバルを通して、実行委員や一般学生が結束し、より良いフェスティバルを作り、このような時期だからこそ結びつきを強く感じられるものにしたい」という意味が込められています。昨年度はコロナの猛威により中止、今年度は規模を縮小しながらも、対策を徹底して開催が実現しました。

在学生が個性を発揮したメインステージ企画、桜新町商店街とのコラボ企画や射的・マスクづくりなどのお楽しみプログラムをはじめ、日体大をリアルに感じる日体大スポーツ展示、オリンピック・パラリンピック展示、駅伝応援企画、キャンパス巡り、公開練習、ミニ実演会など、工夫を凝らした催しが好評でした。



ミズノ株式会社相談役会長 水野正人氏へー日本体育大学名誉博士称号授与



2021年12月15日、東京・世田谷キャンパス記念講堂にて、ミズノ株式会社相談役会長水野正人氏へ日本体育大学名誉博士称号(第16号)を授与しました。水野氏は、オリンピックオーダー銀章受章(2001年6月)、藍綬褒章受章(2004年4月)、世界フェアプレー賞(2010年9月)、旭日中綬章受章(2014年11月)等、スポーツへの貢献により数々の受章・受賞をされています。当日、阿部詩選手(体育学部3年)が花束を贈呈し、全学を挙げて同氏の功績を讃えました。

「授賞理由」

水野正人氏は、1966年(昭和41年)美津濃(ミズノ)株式会社に入社され、1988年(昭和63年)同代表取締役社長、2006年(平成18年)同代表取締役会長に就任され、2011年(平成23年)9月に退任され、2014年(平成26年)7月ミズノ株式会社相談役会長に就任され現在に至ります。

水野氏とオリンピックとの関わりは深く、1976年(昭和51年)モントリオールオリンピックの女子バレーボールにメーカーのお立場で関わられたことを皮切りに、以降、全てのオリンピックに関わってこられました。

2001年(平成13年)4月からはJOC・日本オリンピック委員会理事、2007年(平成19年)からは同副会長を、13年(平成25年)からは同名誉委員を務められています。その間、2001年(平成13年)6月にはオリンピックオーダー銀章も受章されています。

また、永く我が国のオリンピック招致にもたずさわられ、東京2020オリンピック・パラリンピック招致では、招致委員会CEO(副理事長/専務理事)を務められました。2013年(平成25年)9月7日、日本では9月8日未明に2020年東京での開催がIOC総会で決定しましたが、最終プレゼンにも登壇され、2020東京オリンピック・パラリンピック招致に多大な貢献を果たされました。

その一方で、日本スポーツ産業学会の理事を務められるとともに、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団会長として、広く我が国のスポーツの振興、スポーツにかかわる学術・文化の深化、発展に寄与されました。

また、水野氏はスポーツと環境の問題に永く携わられました。

環境問題についてスポーツメーカー全体として取り組むべきとお考えから世界スポーツ用品工業連盟において環境保全に係わる委員会を設立され、委員

長を務められました。その後、IOC・国際オリンピック委員会においてスポーツと環境委員会委員、JOC・日本オリンピック委員会スポーツと環境委員会委員長を務められ、環境問題解決への実践と啓発活動に取り組まれました。スポーツと環境という問題に早くから関わり、実践されてこられたその活動は、広く国内外のスポーツの在り方に影響を与えました。

このように水野氏は永年にわたり国内外のスポーツの振興、スポーツの学術・文化の発展に寄与されました。その功績は顕著であります。

水野正人氏 団体役員歴

1991年2月～2001年8月	世界スポーツ用品工業連盟環境保全委員長
1991年6月～2011年9月	(社)日本ゴルフ用品協会 会長
1996年2月～2015年7月	IOC・国際オリンピック委員会 スポーツと環境委員会 委員
1999年5月～2011年9月	ミズノスポーツ振興会 会長(現(公財)ミズノスポーツ振興財団)
2000年5月～2004年5月	(社)日本スポーツ用品工業協会 会長
2001年4月～2013年6月	JOC・日本オリンピック委員会理事(07～副会長、13～名誉委員)
2001年5月～2007年3月	JOC・日本オリンピック委員会 スポーツと環境委員会 委員長
2001年7月～2004年7月	世界スポーツ用品工業連盟 会長
2002年4月～2011年3月	(財)日本アンチ・ドーピング機構 理事
2011年11月～2014年3月	東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会CEO
2021年4月～現在	(公財)ボーイスカウト日本連盟 理事長



代表選手たちの健闘を称え、さらなる飛躍を誓う 東京オリンピック・パラリンピック報告会を開催



出席選手

オリンピック：[柔道] 阿部一二三、阿部 詩 [ボクシング] 入江聖奈 [トライアスロン] 小田倉真、岸本新菜
パラリンピック：[バドミントン] 梶原大暉 [車いすバスケット] 赤石竜我、高柏義伸
[水泳] 富田宇宙、窪田幸太 [馬術] 吉越奏詞 [陸上競技] 辻 沙絵、兎澤朋美

令和4年1月7日、東京2020オリンピック・パラリンピック報告会が帝国ホテル東京・富士の間で開催されました。当日は、本学と連携協定を結ぶ自治体の首長・教育長並びに本学を支援頂いている「獅子の会」の方々に出席を賜り、盛大に執り行われました。



松浪健四郎理事長、石井隆憲学長の挨拶に続き、出場選手13名が入場・登壇。東京大会の感想とパリ2024大会へ向けた決意表明を各選手が述べ、温かい拍手が送られました。また、来賓の「獅子の会」副会長・飯塚恒生様（東急建設会長）から祝辞を賜り、参加者一同、喜びを共有しました。北京2022冬季オリンピック出場決定の高木美帆選手（スピードスケート）からも、ビデオレターが届き、大会に向けた力強いメッセージが寄せられました。

「交通安全啓発講話」を実施

交通事故防止の観点から、自転車の乗車マナーをテーマとした「交通安全啓発講話」を実施しました。昨今、自転車による事故やトラブルが社会的に多発する中で、交通ルールを振り返る貴重な時間となりました。

【東京・世田谷キャンパス】（令和3年12月6日）

講師：警視庁玉川警察署様・株式会社ブリヂストン様

参加者：224名

【横浜・健志台キャンパス】（令和3年12月8日）

講師：神奈川県警青葉警察署様 参加者：130名



日体大スポーツフェスタ2021 in 東京・世田谷キャンパスを開催しました

令和3年12月18日、東京・世田谷キャンパスにて日本体育大学社会貢献推進機構が主催する小学生向けスポーツ体験教室「日体大スポーツフェスタ2021 in 東京・世田谷キャンパス」を開催しました。

昨年度、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により開催できなかった経緯もあり、たくさんの応募をいただき、抽選により125名の児童を迎え実施しました。当日は、野球・少林寺拳法・トランポリン・ハンドボール・アルティメット・ダブルダッチのうち、3種目ずつを少人数のグループに分かれ体験しました。参加者からも「普段体験することができない種目を大学生の皆さんに教えていただき楽しかった」、「また参加したい」という意見を多数いただきました。

今後も、地域の皆さまに楽しんでいただけるイベントを計画していきます。

